

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学 術)	氏名 Author	PRAYOTO
学位授与の要件	学位規則第 4 条第①・2 項該当		
論 文 題 目 Title of Dissertation Sustainable Peatland Management in Riau Province, in terms of Fire Risk, Biodiversity and Land Management			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	広島大学大学院国際協力研究科	特任教授 中越 信和	印 Seal
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	准教授 李 漢洙	
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	准教授 チャン ダン スアン	
審査委員 Committee	広島大学大学院理学研究科	教授 山口 富美夫	
審査委員 Committee	広島大学大学院総合科学研究科	教授 山田 俊弘	
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本論文は生物多様性が極めて高い熱帯林保護の目的で、インドネシアのスマトラ島リアウ州に広く分布する熱帯林の一類型（群系）、熱帯湿地林の景観生態学的研究を、学位請求論文としてまとめたものである。</p> <p>論文は全 7 章から構成され、1 章は序論で熱帯湿地林の研究の緊急性、2 章は対象森林域の諸元とその研究方法、3 章は人工衛星画像による解析結果及びその「もや haze」による限界、4 章はリアウ州での最近の山火事状況、5 章はリアウ州が位置するスマトラ島での山火事に関連した気候変化と森林減少、6 章は熱帯湿地林の生物多様性と森林構造、7 章は総合考察と結論で、実現可能な熱帯湿地林の保護に関する提案となっている。論文は対象熱帯湿地林の現況を正確に記述し、今後の基礎資料として大変貴重で、この分野での初の貢献である。また、熱帯湿地林の保護に関する実現可能な林業・土地利用政策などを提案している。</p> <p>平成 30 年 7 月 17 日に 40 分間、公開で本人に論文を発表させた。発表会参加者は審査委員（試験委員と同じ）全員 5 名を含む 21 名。発表後、20 分間の討論を行った。討論では一般的な質疑 2 件の応答となった。発表者はそれらに適切に回答した。続いて同室で行われた審査会では、論文全体にわたって予備審での指摘も踏まえ審査委員との徹底討論が行われた。その中で、予備審での指摘は解決し学位論文中に記載したこと、その中 1 件、異なる立地での種多様性と地因子の分析では既存の全解析でも傾向が不明瞭であった回答した。理由は、対象となる熱帯湿地林の立地に差異が少なく、かつ適応種が限定されているためである。もう 1 件、種多様性の分析では種名の出典をインドネシア国の出版物から国際的に評価されている米国ミズーリ植物園の種名リストに変更して、一元的に改訂していた。これらを確認したことなどで本審査会での討論は建設的に行われ、学位論文の質的向上のための助言が出された。</p> <p>本論文の 1 章・2 章の一部と 3 章、及び 1 章・2 章の一部と 4 章は 2 編の査読制国際誌に公表済みで、1 章・2 章の一部と 5 章は査読制国際誌に、1 章・2 章の一部と 6 章は査読制国内誌にそれぞれ投稿され、審査中である。国際的に俯瞰し、量的に貧弱な熱帯湿地林域の景観生態学的研究をおこなったこと。深刻な局面を迎えている山火事多発地帯の研究で有用な保護管理用の諸発見は高く評価できる。さらに、最終章 7 章は、インドネシアをはじめ熱帯発展途上国での、山火事管理、種多様性の保護、及び土地管理に関して、保護を優先しつつ、利用や修復を可能にする手法も提案され、実用的でもある。以上、審査の結果、本論文の著者は博士（学術）の学位を授与される十分な資格があるものと、審査委員全員で認めた。</p>			